

〈2015 年度理事会議事録〉

日時： 2015 年 4 月 25 日

16：30～17：30

場所： 「いねや」

出席者： 山本剛生（10）、櫻井昭一（11）、内野秀夫（12）、深谷豪（15）、伊東勝英（16）、川崎清明（17）、青木稔（18）、左近允輝一（19）、吉越昌治（20）、土屋猛（22）、市川泰夫（23）、山田達男（29）、川相智史（30）、佐藤佳一（32）、石川知行（38）、永目哲（41）、沢木拓也（45）、長友慎治（50）、辻雄貴（55）、尾形祥吾（64）
監事 鈴木豊（14）、山小屋委員 吉村祐紀（64）

出席者 20 名、委任状提出者 18 名、賛成票事前投票者 2 名で表決参加者 40 名
（総理事数 65 名）

〈開会宣言および議長選出〉

石川専任理事（38）より理事会の開会宣言がなされ、吉越会長（20）に議長をお願いしたい旨の提案がなされ全員異議なく了承された。

〈議長挨拶〉

議長は理事各位の会運営への協力に謝意を表した後、創部 65 周年の昨年に懸案の妙高山小屋への合併浄化槽設置工事完了の報告をし、会員各位の協力に感謝した。そして本日の理事会で事業計画、予算などについての審議をお願いした。

〈理事会の表決および議案の訂正〉

川崎常任理事（17）から理事会の成立規定はないが、表決参加者過半数で議案が承認されることが説明された。現時点で表決参加者は 40 名であることから、その過半数を持って議案が承認されとした。

続いて、数か所の議案書の訂正事項について説明した。

〈書記の指名〉

会則 35 条により議長は川崎常任理事を書記に指名した。

〈物故者黙祷〉

議長から審議に先立ち、この 1 年間に亡くなられた会員の報告がなされた。

水上豊雄氏（12 代、5 月 10 日）、深井関雄氏（20 代、6 月 7 日）、稲勝代氏（10 代、9 月 30 日）、山口純一氏（8 代、12 月 28 日）、以上 4 名のご冥福を祈り全員起立し黙祷を捧げた。

〈議案審議〉

議案 1. 2014 年度事業報告案

山田副会長（29）は議案書に基づき、主な催事および重点実施事項について、項目ごとに補足を加えながら説明した。

さらに監事の交代（新監事として市川泰夫氏（23））、準会員の加入承認（安倍大資氏（58））について説明があった。

〈質疑〉

質疑はなく、準会員の加入を含め事業報告案は承認された。

議案 2. 2014 年度決算案

川相会計担当常任理事（30）は当初予算との差異の生じた項目を中心に説明を行った。

- （1） 会費の納入率は 88%と高止まり状態で、口座振り替えは 3 口座増にとどまった。
- （2） 山小屋資金会計では合併浄化槽設置関係で現地出張交通費を計上した。
- （3） 遭難対策資金会計では 3 月の山スキー事故での連絡員の派遣費用を計上した。
- （4） ワンゲル基金会計では稲 OG からの寄付を計上、3 月末の貸付金残高は 100 万円（10 件）で資産残高は 4,412,713 円となった。

〈監査報告〉

市川監事（就任予定）より、4 月 2 日鈴木、市川両監事が会計監査を行い、適正に処理されている旨の報告があった。

〈質疑〉

質疑はなく、決算案は承認された。

〈現役部・山小屋会計〉

長友常任理事（50）から、現役部、当会共管の「山小屋会計」の概況説明があった。

収入約 37 万円、支出約 44 万円で約 7 万円の赤字になった。これは山小屋工事関係の交通費、除雪交通費増によるもので、繰越金が 60 万円程度あるので心配はない。

また、2015 年度施設改善要望（煙突修理）を提出し、大学から承認された旨の報告があった。

議案 3. 2015 年度役員案

川崎常任理事から執行部および理事、特別委員会委員で変更があった点について説明があった。

- （1） 執行部

- 監督交代にともない、大家常任理事（35）が退任、監事に市川泰夫氏が就任
- (2) 理事
15 代松下収男氏から深谷豪氏に交代、65 代佐々木透氏就任
 - (3) 特別委員会
現役活動支援員会から沢木拓也氏（45）が外れ、青木寛氏（45）が委員長となる

〈質疑〉

鈴木監事（14）から市川氏が監事に就任するので、23 代として新たな理事が就任する必要がある旨の指摘があり、総会までに新理事を選出することとなった。これ以外の質疑はなく、役員案は承認された。

議案 4. 2015 年度活動方針および事業計画案

石川専任理事は議案書に基づき補足を加えながら下記事項を重点的に説明した。

- (1) HP、メーリングリストのほかに Facebook も活用する
- (2) 会員名簿を更新する（物故者の命日を加える）
- (3) トイレ水洗化、北陸新幹線開業、妙高戸隠連山国立公園の指定を契機として山小屋の利用促進を図る
- (4) 地方在住会員にイベント参加の機会を提供すべく、地域別懇親会を行う。今年度は甲信越地域在住会員を意識し、長野県か新潟県での開催を予定する

〈質疑〉

質疑はなく、事業計画案は承認された。

議案 5. 2015 年度予算案

川相会計担当常任理事は議案書に基づき、実績比変動する項目を中心に説明した。

- (1) 会費収入は物故者増、新入会員減そして会費減額対象者（13 代が対象になる）増などの要因から前年度比微減を想定した。
- (2) 会員名簿作成費 8 万円を計上

〈質疑〉

鈴木監事から年度表示などの間違いの指摘があった。これ以外の質疑は特になく、予算案は承認された。

現役活動報告

沢木監督から現役部の状況説明があった。4 年生 1 名、3 年生 1 名（実質、期中に 1 名留学から復帰予定）のもと 2 年生 8 名といびつな構成であるが、若手 OB、OG の積極的な協

力で何とか運営できている。

新人は 9 名程度入部予定である。

〈閉会宣言〉

議長は全ての議案の審議が終了した事、議事進行への協力に感謝の意を述べ、閉会を宣言した。

以上

書記 川崎清明（17）